



Weekly Report

創立:1980年(昭和55年)1月10日

会長:大島 浩嗣

幹事:稲葉 徹

会報委員長:高木 勝

例会日:毎週木曜日 PM12:30~

会場:ヒルトン名古屋

事務局:460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3

ヒルトン名古屋910号

TEL:052-211-3803

FAX:052-211-2623

Mail:2760nagoya@mizuho-rc.jp

URL:http://www.mizuho-rc.jp/

CELEBRATE ROTARY

2004~2005年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーを祝おう 2004~2005年度 R.I.会長グレンE.エステス・シニア

第1216回例会

~世界理解月間~

2005年2月17日(木) 晴 第30回

- 司会:(倉澤 寛会場委員)
- 体操:ストレッチング(船渡昭人会場委員)
- 斉唱:「それでこそロータリー」
- ビジター:名古屋RC 水野金平君
- ゲスト:ハンガー・フリー・ワールド 理事 高山悦嘉氏
ウガンダ担当 吉田千代子様
(近藤洋輔親睦活動委員)

会長挨拶

大島浩嗣会長

今から50年前、日本人の平均寿命は男性50年、女性54年しかありませんでした。今男性78年、女性85年、日本は世界の長寿国であります。戦後、日本の成功の一つとして自慢出来る事柄ですが、その一方で認知症や寝たきりなどに悩む高齢者も増えております。平均寿命とは健康か病気かは別として、あと何年生きられるかという寿命の長さを測るものですが、飛躍的にのびた現在、寿命の質が問われています。そこで新たに登場した考えが健康寿命であります。健康寿命とは、あと何年自立して健康に暮らせるかを測るもので、平均寿命の延び以上に健康寿命を延ばして、できるだけ長く活発に暮らしたいものであります。



その第一の方法は、要介護の原因となる疾患を予防する事です。男性、女性とも第一の原因と第二の原因はともに脳卒中などと老齢による衰弱であります。男性は3位にパーキンソン病、4位に認知症、5位に骨折転倒があり、女性の場合、3位骨折転倒、4位に認知症があります。生活習慣に気をつけ、適切な治療に励む事です。第二の方法は心身ともに活発に暮らして老化のスピードを遅らせる事で、趣味や運動、社会活動などに参加しているお年寄りには健康寿命が長いようであります。第三の方法は訓練などで心身の機能レベルを上げる事で、どんなに高齢になっても、訓練の効果は期待出来るよう得手遅れとなる年齢や機能レベルはないようであります。むしろ機能の低下している人ほど訓練の効果が大きかったというデータもあるようで、心身の機能を高めれば老化によって目減りするスピードを遅らせる事が出来るようです。

私も、瑞穂ロータリーの諸先輩を手本に生活習慣に気をつけ、ロータリー活動を続けたいと願ってやみません。

幹事報告

稲葉 徹幹事

- 本日メールボックスに4RC合同のロータリー100周年記念イベントの出欠のご案内が入っております。御家族、会社の方、お友達と一緒にご参加お願い致します。
- RI日本事務局へ、インドネシア・スマトラ沖大津波義援金として会員1人当たり2,000円×75名分、計150,000円をニコボックスより拠出致しました。

- 市内22RC社会奉仕拠出金として、1人当たり1,000円、計74,000円を納入しました。
- 次週2月24日(木)に「4RC合同例会」が18時よりヒルトン名古屋5階「金扇の間」にて当クラブのホストにより行われます。よろしくお願い致します。

出席報告

佐藤 一郎出席委員長

会員75名 出席60名 (出席計算人数55名)

出席率87.27%

2月10日は補填により 90.91%

2月3日は補填により 98.18%

1月27日は補填により 98.18%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋北		3/11(金)		
名古屋東			3/14(月)	
名古屋守山			3/16(水)	3/23(水)※
名古屋みなと		3/11(金)		3/25(金)
名古屋東南			3/16(水)	3/23(水)
名古屋中	2/28(月)			
名古屋和合	3/2(水)			
名古屋名東	3/1(火)		3/15(火)※	3/22(火)※
名古屋名北	3/2(水)			
名古屋千種		3/8(火)		
名古屋大須				3/24(木)
名古屋栄				3/21(月)※
名古屋名南		3/8(火)※	3/15(火)◇	3/22(火)◇
名古屋名駅			3/16(水)※	
名古屋昭和				3/21(月)※
名古屋西南		3/10(木)		
名古屋東山				3/24(木)
名古屋空港		3/7(月)		3/21(月)※
西春日井			3/15(火)※	
豊山一城北		3/8(火)		

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

ニコボックス

田口 豊ニコボックス委員長

- 2月11日は結婚記念日でした。 **八木沢幹夫君**
- 2月10日は結婚記念日でした。31回目です。女房には日々世話になっております。ありがとう。 **岩田 修司君**
- 昨日2月16日は妻の誕生日でした。きれいな花のプレゼント、ありがとうございました。 **田口 豊君**
- 本日の卓話に、ハンガーフリーワールドの吉田さんと、四日市南RCの高山さんをお迎えして。 **野崎 洋二君**

・本日卓話にハンガーフリーワールドの吉田さんにお忙しい中、お越し頂いております。ありがとうございます。 **増田 盛英君**
 ・1月2月は多忙な日々が続きました。2月中旬ようやく一段落。和倉で一休みしてきました。 **岩本 成郎君**
 ・昨日2月16日から確定申告が始まりました。いよいよ忙しい時期になってきました。風邪をひかないように気を付けましょう。 **稲葉 徹君**
 ・今朝飛島工業団地で、とっても親切な丸太運輸のドライバーに巡り会いました。 **遠山 堯郎君**
 ・泉さん、先日はお世話になりました。入江さん、今年は留年しないようお互い頑張りましょう。 **内田 久利君**
 ・久しくニコボックスをご無沙汰しておりましたので、とりあえずご挨拶まで。 **嶺木 一夫君**

委員会・同好会報告

新世代委員会・渡辺喜代彦委員長

本日皆様方のお手元に配布してあります「10代フォーラム 私達はこう考える」が3月19日(土)14時から17時まで、名古屋市公会堂大ホールにて開催されます。こちらは東南・名南RCの100周年事業という事で、南と瑞穂RCにお声をかけて頂き参加させていただくこととなりました。1000名の動員と言う事で、会員の皆様、御家族やお知り合いにお声掛け頂き、大勢のご参加をよろしくお願い致します。

地区ローターアクト委員会・遠山堯郎君

毎年恒例となっておりますローターアクト23名がオーストラリア・ケアンズに研修に行き、月曜日に無事帰って参りました。昨年はインドネシアに行きましたが今年インドネシアだったら大変な事だったと思っております。以上地区からの報告でした。

卓話

ハンガー・フリー・ワールド 理事 高山 悦嘉氏
 ウガンダ支部担当 吉田千代子様

「ごあいさつ」 ハンガー・フリー・ワールド理事 高山悦嘉氏

皆様こんにちは。一昨年の11月、私はウガンダを訪れ、カンパラにありますハンガー・フリー・ワールド支部の支部長であるフレッド氏を瑞穂RCに招き、ウガンダの現状をご報告致しました。その後早速「命の水」と言われております井戸を1基掘って頂いて、150人~200人の命が助かっていると聞いております。そしてまた期せずして25周年の記念行事として学校建設と言う素晴らしい企画をご高言頂きまして誠に有難く思っております。アフリカでの飢餓・貧困からの救済は教育を受けさせる事であると、我々ロータリアンは常々申しております。私どもハンガー・フリー・ワールドでは、ロータリアンの諸先輩方から御支援をいただき、現地の様子などお話しをしていきたいと思っております。今回卓話をして頂く吉田千代子さんですが、ハンガー・フリー・ワールド創設当時のメンバーで、同時通訳が出来るほどの素晴らしい女性でございます。現地では「マダム・チヨコ」と呼び親しまれ、昨年には現地の言葉で呼び名を命名して頂いたほどです。本部は東京にありますが、絶えずメールや電話などで現地の状況を確認しています。ご質問などありましたら遠慮なくお聞き下さい。

「学校へ行きたい子どもたち~ウガンダ共和国の子どもたちとその現状」

ハンガー・フリー・ワールド ウガンダ支部担当 吉田千代子様

名古屋瑞穂RCの皆様こんにちは。ただいまご紹介にあずかりましたハンガー・フリー・ワールドでウガンダ地区を担当しております吉田と申します。本日は皆様の貴重なお時間を頂き、ウガンダについてお話しをさせて頂けるという事で本当にありがとうございます。また、先ほど発表されました、貴クラ



ブの25周年記念事業として学校建設の御支援を頂けるという事で、重ねてお礼を申し上げます。

今日はウガンダがどういった国なのかと言う事と、ウガンダの人々がどのような暮らしをしているかと言う事、特に子どもたちの状況についてお話しをさせて頂きたいと思っております。まずはじめにウガンダという国ですが、場所はアフリカの東部になります。国の中に赤道が通っていますが、標高が1,220mぐらいのところにあります。とても快適な気候です。1962年にイギリスから独立し、英語が公用語となっております。非常に緑が豊かな美しい国です。本来ですと貧困や飢餓に悩まされるような国ではないのですが、1971年にアミン参謀総長がクーデターを起こし政権をとり、反対派30万人を虐殺したと言われております。アミン失脚後も内戦状態が続き、インフラが破壊され、経済も壊滅状態に陥りました。しかし1996年に現大統領のムセベニが政権を取りましてからは、比較的政情も安定し、経済も上向いてきております。あとこの国でもう一つ大きな問題としてHIVの問題があります。エイズのために片親、もしくは両親を亡くした子供は200万人いると言われております。そうした状況から、ウガンダは世界の最貧国の一つと言われております。人口は2,100万人ですが、そのうちの90%以上が農民で、ほとんどが零細農家です。首都に行きますと高層ビルが建ち並び、電気・水道がありますが、農村部へ行きますと、電気や水道、トイレすらないといった状況です。

それではここでウガンダの子どもたちがどういった生活をしているかをお話ししたいと思います。ウガンダでは1,000人中131人もの子供が5才になるまでに死んでしまう為、多くの子供を産みます。それが貧しさに拍車をかけています。子供が早く死んでしまう原因は医療体制の遅れからと下痢によるものです。6才から小学校へ入学となります。就学率は男子92%、女子83%と比較的高くなっておりますが、5年生までに半分近くの子どもたちが中退をしてしまいます。一番の原因は学校が遠く、多くの場合片道3~4キロの道のりを歩いて通わなければなりません。その為多くの子供が途中で学校を辞めてしまいます。ウガンダの子どもたちの一日ですが、夜明け前に起き水汲みに行きます。朝ご飯は食べない子もいます。貧しい家ですと昼、もしくは夜しか食べない事もあるからです。そして自分の受け持ちの畑を耕し、それから学校へ行きます。給食はない所もありますが、あってもトウモロコシの粥だけといったものが多いです。低学年の子供はお昼まで、高学年の子供は4時頃まで授業を受けます。そしてうちに帰ると夕方の水くみ、家畜や妹弟たちの世話、掃除など家の仕事を手伝います。この様にウガンダでは子どもたちも一家の働き手の一人として見られています。そんなに働かされて可哀相と思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、子どもたちは家庭の中で責任を持って役割を果たしている事に大変誇りを持っています。

そのような農村部の人々の生活を少しでも良くするために、私達は、井戸の建設や学校建設を行ってきております。いろいろな問題を抱えたウガンダ共和国ですが、将来には多くの希望があります。現在経済の水準も71年頃のレベルに回復してきております。国民性も真面目で礼儀正しい人たちがばかりですので、皆様から少しでも御支援をいただければ、大きな成果を出してくれると思っております。また、この貧しさを克服するためには人材育成が非常に重要な事だと思っております。今回名古屋瑞穂RC様より、学校建設の御支援をいただけるという事はウガンダにとって非常に大きな貢献になると思っております。本日は皆様ありがとうございました。

今週行事

2月24日(木)

4RC合同例会 : 18:00より
 於 : ヒルトン名古屋 5階「金扇の間」

次週卓話

3月3日(木)

卓話者 : 2004~05年度 青少年交換学生
 Steven Sedlak (スティーブン・セドラク) 君
 テーマ : 「ぼくの留学日記」